



ふるさと生活圏 第2回交流会開催!



人口減少や少子高齢化が進行する中、和歌山県では、個性豊かな中山間地域づくりを目指し、平成22年度から日常生活機能の確保や地域の活性化を図ることを目的とした住民主体の取組（「ふるさと生活圏」単位）を支援しています。これまでに22市町村39の生活圏で取り組まれ、現在2生活圏で本格的な活動に向け話し合いが行われています。

この度、昨年好評を得た交流会を開催します。生活圏の皆様が一堂に会し話し合うことで、各生活圏が抱える課題の解決や新たな活動のヒントを得る機会とします。

1. 日 時：令和元年7月30日(火)

13:00~16:30

2. 場 所：交流センター 太田の郷

(東牟婁郡那智勝浦町南大居233)



3. 内 容

①研修

◆テーマ 「ちょっと」の工夫で魅力が上がる!~地域産品をブランド化~

◆講 師 株式会社 Kozacara 代表 ^{いわくら たかし} 岩倉 昂史 氏

②事例発表 寄合会の取組 2事例

◆大崎生活圏(海南市)…げんき大崎

「漁港倉庫を活用したカフェや鮮魚・総菜の直売等」

◆太田生活圏(那智勝浦町)…NPO 太田の郷

「廃校舎を活用した食事処や高齢者サロン等」

③意見交換会

4. その他：参加予定…15生活圏(約40名)



《昨年の様子》

※「ふるさと生活圏」…人口減少や高齢化等の問題を抱える地域において、日常的な生活サービスを楽しむことができる基幹集落と周りに点在する基礎集落で構成される集落群からなり、住民生活の一体性が確保できる単位をいう。(旧町村や小学校区等のイメージ)